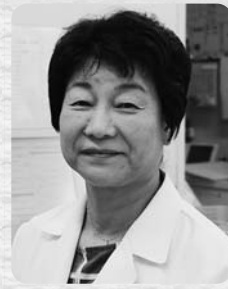


私たちの大切な地域医療を守るために

〜郡上市の今後の地域医療を
みんなで一緒に考えよう〜



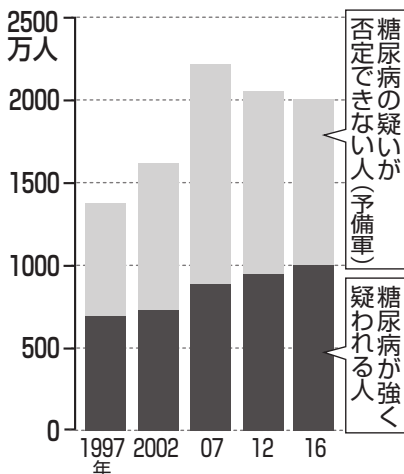
▲堀谷医院 堀谷院長

世界糖尿病デー記念セミナー in 郡上(11月11日(土))

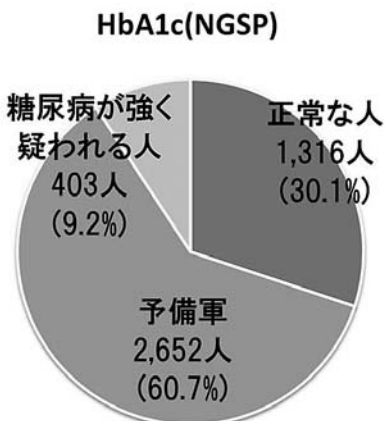
世界の糖尿病患者数は、成人人口のおよそ8.8%で4億1500万人、糖尿病予備軍は3億1800万人に達しています。1年間に500万人以上の人々が糖尿病の合併症が原因で死亡しており、6秒に1人が糖尿病に関連する病で亡くなっている計算です。糖尿病の年間医療費は6730億ドル、日本円にして約70兆円になります。さらに2040年には糖尿病患者数は6億4200万人に達すると予想されています。

2006年12月の国連総会議で「糖尿病の世界的脅威を認知する決議」として加盟国192カ国が、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日である11月14日を「世界糖尿病デー」と可決し、糖尿病の予防、治

糖尿病の疑いがある人の推移



※厚生労働省の国民健康・栄養調査による
(全国)



資料:平成28年度郡上市国保特定健診
(郡上市)

療、療育を喚起する啓発活動が世界各地で推進されています。シンボルマークの「ブルーサークル」は、空を表すブルーと団結を表す輪(サークル)にちなみ11月14日を含む週に、観光施設などを青色にライトアップするイベントが各地で開催されています。

日本では、平成29年9月21日、厚生労働省「国民健康・栄養調査」で糖尿病が強く疑われる成人男女は(2016年時点、推計)約1000万人と発表され、前回調査(2012年)より50万人増加しました。糖尿病予備軍は約1000万人でした。

全国糖尿病週間(平成29年11月13日〜19日)のテーマは「重症

化予防〜糖尿病 手遅れ防ぐ、早めの受診〜です。

岐阜県では、平成28年12月現在で糖尿病患者数は24万人、予備軍約30万人と推定されており、啓発活動のために、郡上八幡城、岐阜城、JR岐阜駅北口駅前広場、大垣城、美濃市旧今井家住宅、多治見修道院、多治見市役所、多治見庁舎、飛騨・世界文化センターがライトアップされ、青い光に包まれます。また、各地で記念セミナーが開かれます。

郡上市においても、「世界糖尿病デー記念セミナー in 郡上」を、郡上市後援のもと、郡上市医師会主催で、11月11日(土)に郡上市総合文化センターで開催しま

す。講演は 郡上市八幡町の篤齒科医院院長 篤錦子先生 「お口から始めよう糖尿病予防」と岐阜大学内分代謝学教授 武田淳教授 「糖尿病予防のために(上手な食生活)を考える」です。

平成28年度郡上市国保特定健診を受けた40歳から74歳までの4371人の集計では、糖尿病が強く疑われる人が9.2%、予備軍が60.7%を示し、合わせて約70%でした。治療を受けている人は8.1%で、約90%の人は治療を受けていません。初期には全く自覚症状がなく、放置されることが多く、重症化し、失明する糖尿病性網膜症や、足の切断

の原因になる糖尿病性神経障害、現在透析に移行する一番多い原因とされている糖尿病性腎症などの合併症に進行します。そのためにも予備軍のうちから生活習慣の見直しを行い、健康的な食生活を維持することにより、発症を抑制したり病気の進行を遅らせたりすることが重要です。

「世界糖尿病デー記念セミナー in 郡上」では、午後2時から1階の展示室で血糖と1〜2カ月の平均血糖値を反映するHbA1cを無料で測定し、すぐ結果がわかります。相談コーナーには医師、薬剤師、栄養士が待機しています。歯科検診コーナーでは歯周病検診、あなたの食事診断コーナーでは八幡の岩崎模型の食品サンプルを使用したサツシシステムで、1食分のカロリーなどを直ちに判断できます。岐阜県ノルディック・ウォーク連盟の展示と指導、また、低カロリー食品の展示やサンプル等すべて無料で用意しています。

この機会に、ご自分の健康状態のチェックと、日頃心配しておられる事などの相談にぜひお越しください。

医療を取り巻く環境は大きく変化し、特に私たち郡上市のような地域では、医療環境の維持が難しくなっています。そのような中で市民のみならず、行政や医療機関だけでなく、市民のみならずご理解とご協力が不可欠です。そこで郡上市における地域医療の現状や課題等を広く知っていただくため、病院や医師の先生方にご協力をいただいで広報誌でお知らせしています。

第8回目となる今回は、堀谷医院 堀谷登美子院長に寄稿いただきましたのでご紹介します。